

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)N-stage藤沢	階数	地上5F
建設地	藤沢市川名1丁目597-17の一部他5筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域、河川保全区域	平均居住人員	73 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,700 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年12月18日
敷地面積	1,118 m ²	作成者	(株)レオ一級建築士事務所
建築面積	499 m ²	確認日	
延床面積	2,007 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建築基準法を遵守した上で、計画前に比べ緑地部分を増やす等、居住者が不自由なく過ごせる空間を整備し、地域環境へも配慮した計画としている。	藤沢市緑の保全および緑化の推進に関する条例における緑化基準に基づく郷土・在来種の植栽に努めている。	
Q1 室内環境 断熱等性能等級4の確保。 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 風除室の1次扉と2次扉の距離を1.0m以上確保している。 鉄筋コンクリート造の劣化対策等級2の性能確保。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4相当である。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率88%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される